



万亭應賀作

第十三号

~ 13  
3749  
13



門 13  
號 37  
卷 13

儀文庫 廿五篇  
上之巻

万亭 應賀作

一壽齋 園貞畫

春新梓

上州屋重蔵板



釋迦八相倭文庫二拾五編序

經小曰中天竺迦毗羅衛國於四月八日小秋迦菩薩誕生  
長丈六尺九寸四月九日小難陀生長丈五尺四寸白飯王四月八日  
調達生長丈五尺四寸四月十日阿難生長丈五尺二寸斛飯  
王摩訶阿那律生長甘露飯王及々跋提生長丈五尺二寸  
是を證す採ぞ入一經を調達の本名調婆達多を則提婆  
達多のとありこれハ是を正として折指太子名を改め阿闍  
世太子と号する釈迦如來寂場樹下を廓然大悟の空寂迄  
と予空寂の我心より誓く法の道草に眼覚れば若者せと拙  
を嗚呼若かりしか只々嘖とまき而已ふと終

嘉永六年  
癸丑孟陽

万亭 應賀誌

類は羅王の子折  
 指太子波牟天要山中  
 小符倉々侍女の為突  
 難不逢提婆達多  
 靈芝を取んと折  
 彼山小者の太子と助て  
 家小虎野有外道魔  
 術と見せしめ己身方  
 るえ危不養育て鏡  
 の着初と賀一名と阿  
 闍世太子と改を尚も  
 魔法と学しむ



提婆  
 達多  
 又一名  
 調達  
 と云



折指太子  
 名と  
 阿闍世太子  
 と改む

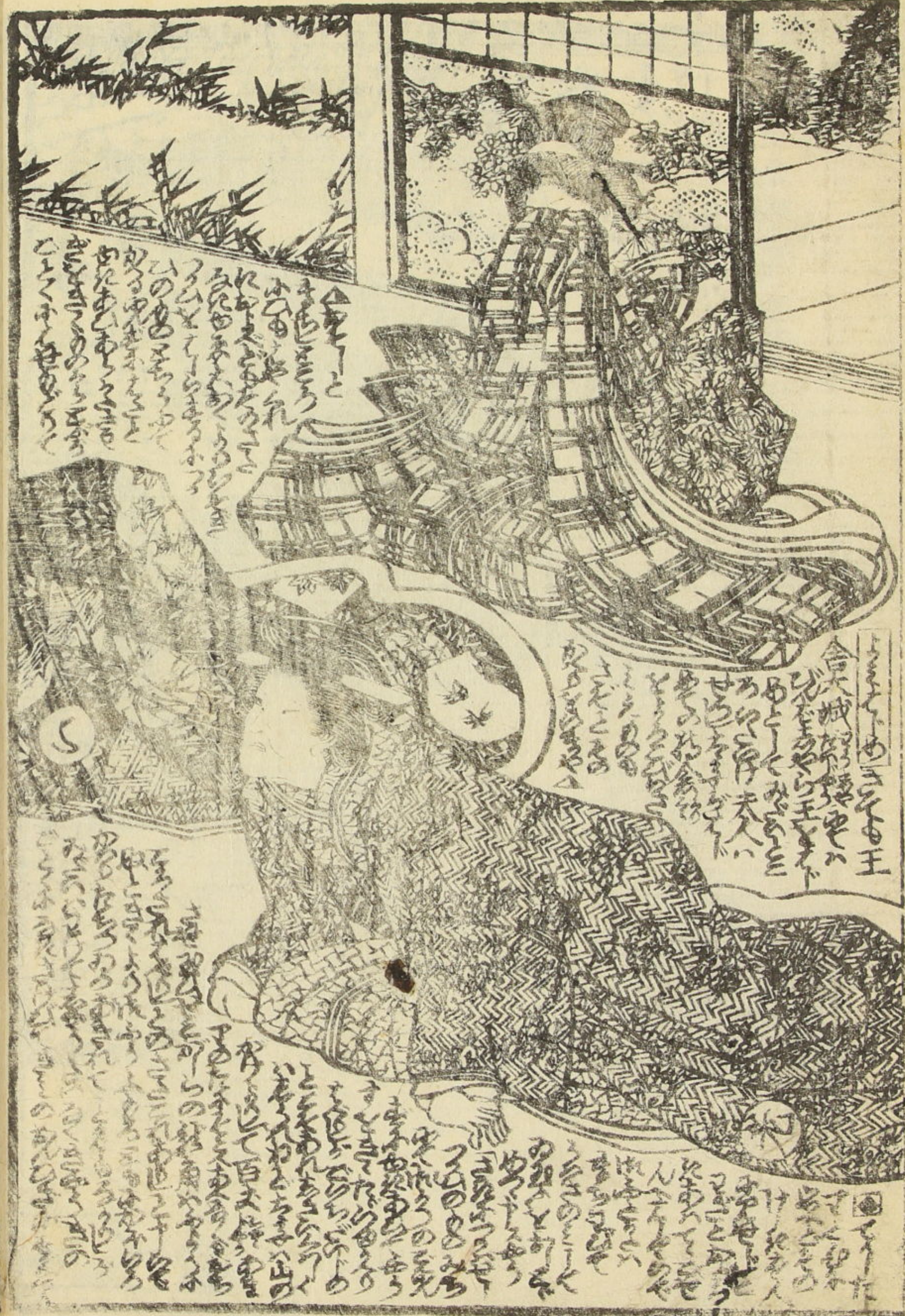
悉達太子雪山の寂場樹下  
 空寂仙小見え因位八  
 千度の物語を聞臘月八日  
 の暁小明星の光と戴冠て  
 雪山を出さるる

三界の大教主  
 釋迦牟尼如來

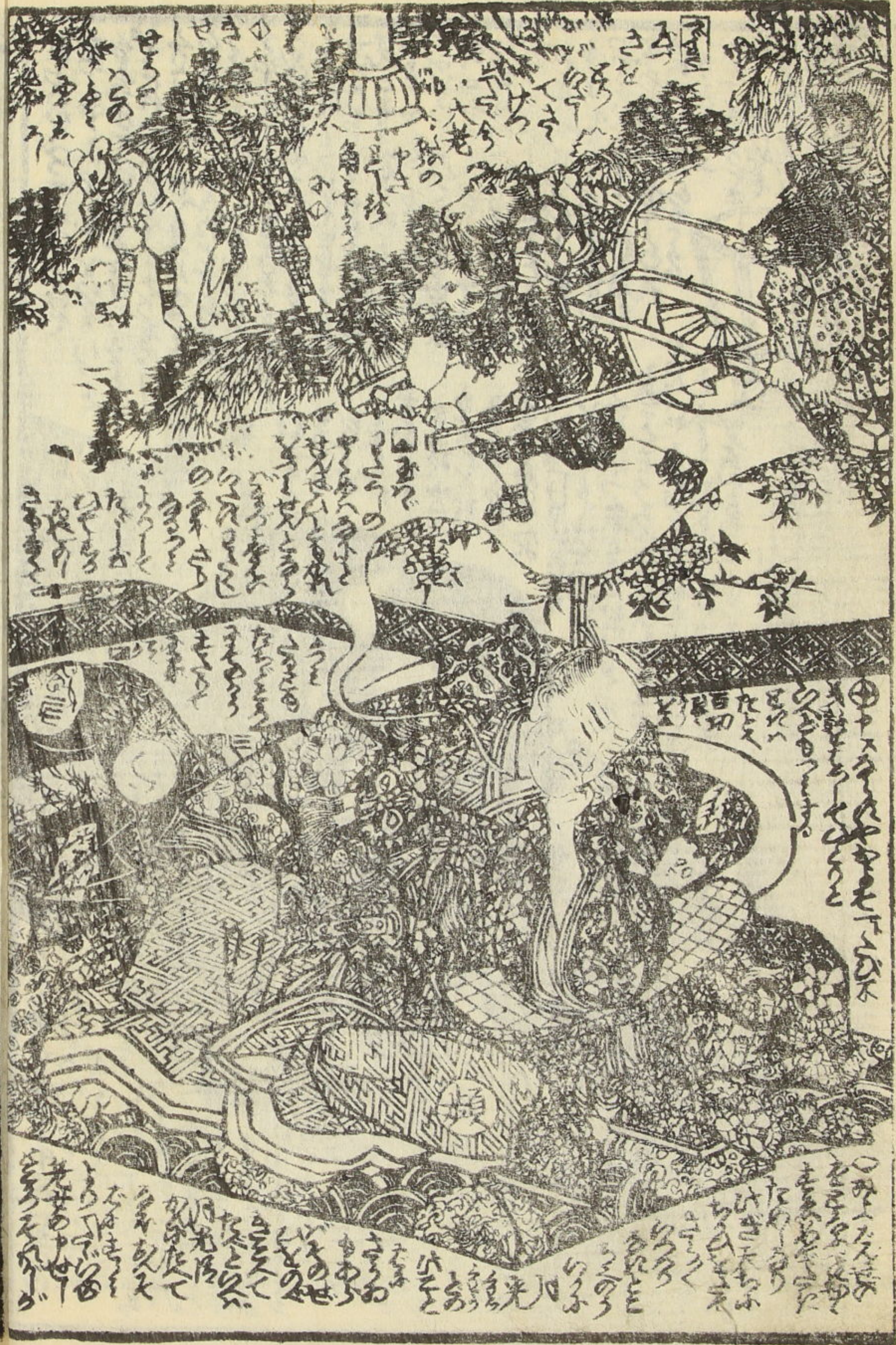


空寂仙

曲多因

















安政四年丁巳新春新板目錄

倭文庫

三十七編 三十八編 万亭應賀作  
三十九編 四十編 一陽齋豊國画

重の井菱染別小紋

七編 為永春水画  
八編 同

昔語小栗實説

二編 松亭金水画  
三編 同

花山吹百人女郎

初編 柳亭種彦画  
二編 同

大寶御江戸圖

極上摺奉書六枚半續

常磐津懷中本

初編 二編  
三編 四編

重繪州紙本類

上州屋重藏

應賀作國貞画

不白の角とて... (Vertical text describing the scene or the artist's style, written in a calligraphic hand.)



Various small inscriptions and signatures in the bottom right corner, including '国貞画' and '應賀作', along with other smaller characters and marks.

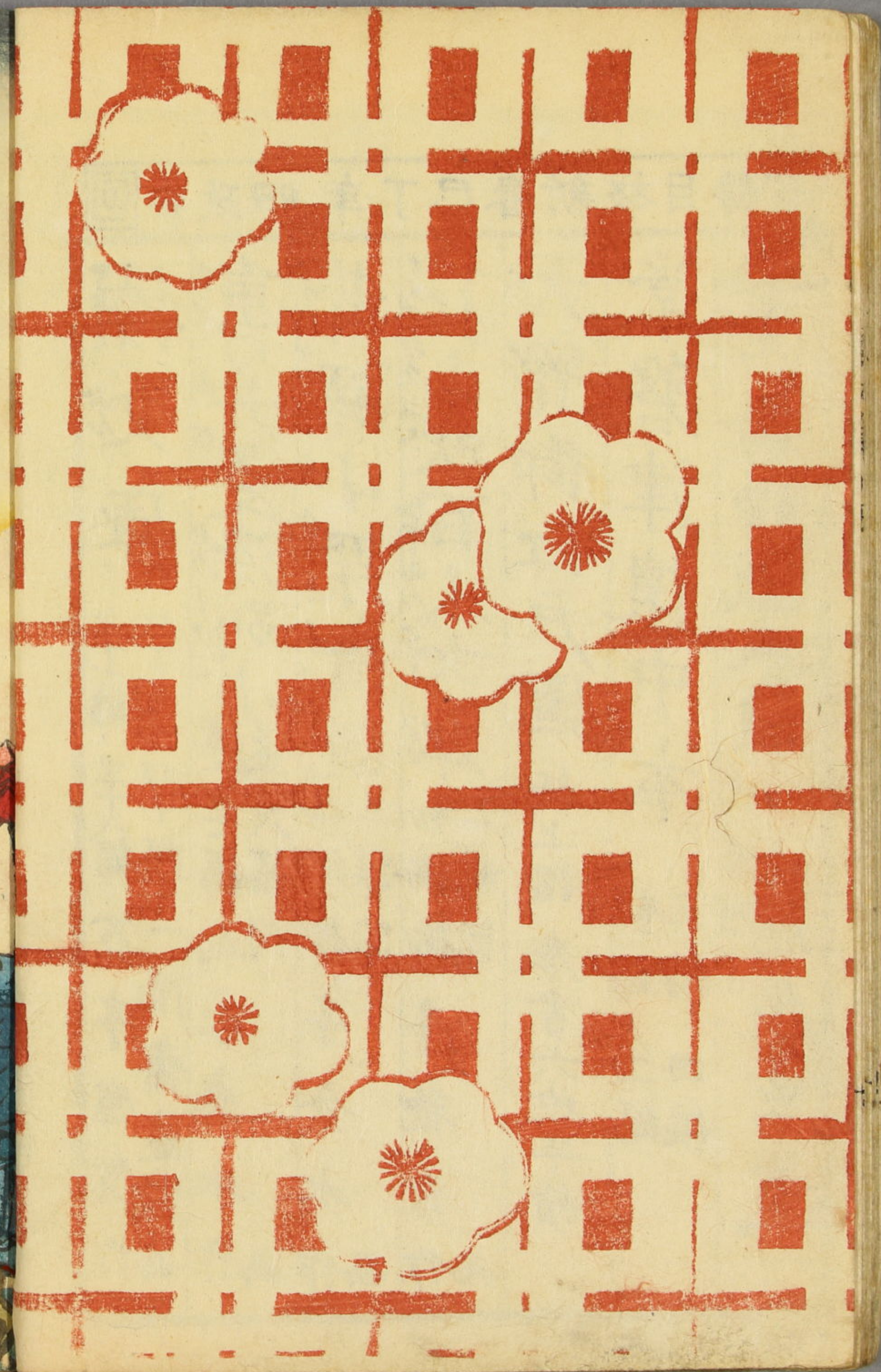
二世歌川貞画

介題曲多國画

倭文庫二拾五編



下





此の山は...  
 山天...  
 此の山は...  
 山天...  
 此の山は...  
 山天...

此の山は...  
 山天...  
 此の山は...  
 山天...  
 此の山は...  
 山天...

也由知  
 二平五編  
 春行橋  
 國貞五  
 忠愛物



下の巻

春行橋



熊の力は人より倍なり  
其の爪は鉄より堅なり  
其の尾は人より長なり  
其の毛は人より厚なり  
其の力は人より倍なり  
其の爪は鉄より堅なり  
其の尾は人より長なり  
其の毛は人より厚なり



鷹の力は人より倍なり  
其の爪は鉄より堅なり  
其の尾は人より長なり  
其の毛は人より厚なり  
其の力は人より倍なり  
其の爪は鉄より堅なり  
其の尾は人より長なり  
其の毛は人より厚なり



















万亭應賀作の二書時齋國貞画



万亭手画

如來の御影を... 万亭手画... 万亭手画... 万亭手画...

雪山... 万亭手画... 万亭手画... 万亭手画...

清書 谷金川

成道... 万亭手画... 万亭手画... 万亭手画...

安政四年丁巳新春新板目錄

倭文庫出世双六

万亭應賀作 陽齋豊國画

春遊將棊双六

川貞房画

男女役替双六

陽齋豊國画

武家奉公出世双六

同同画

奥奉公出世双六

同同画

極上摺擬百人一首百枚揃

一陽齋豊國画

重榮御江戸繪圖

奉書四枚半續

端唄少少の竹

小本上中下の... 端唄少少の竹... 端唄少少の竹...



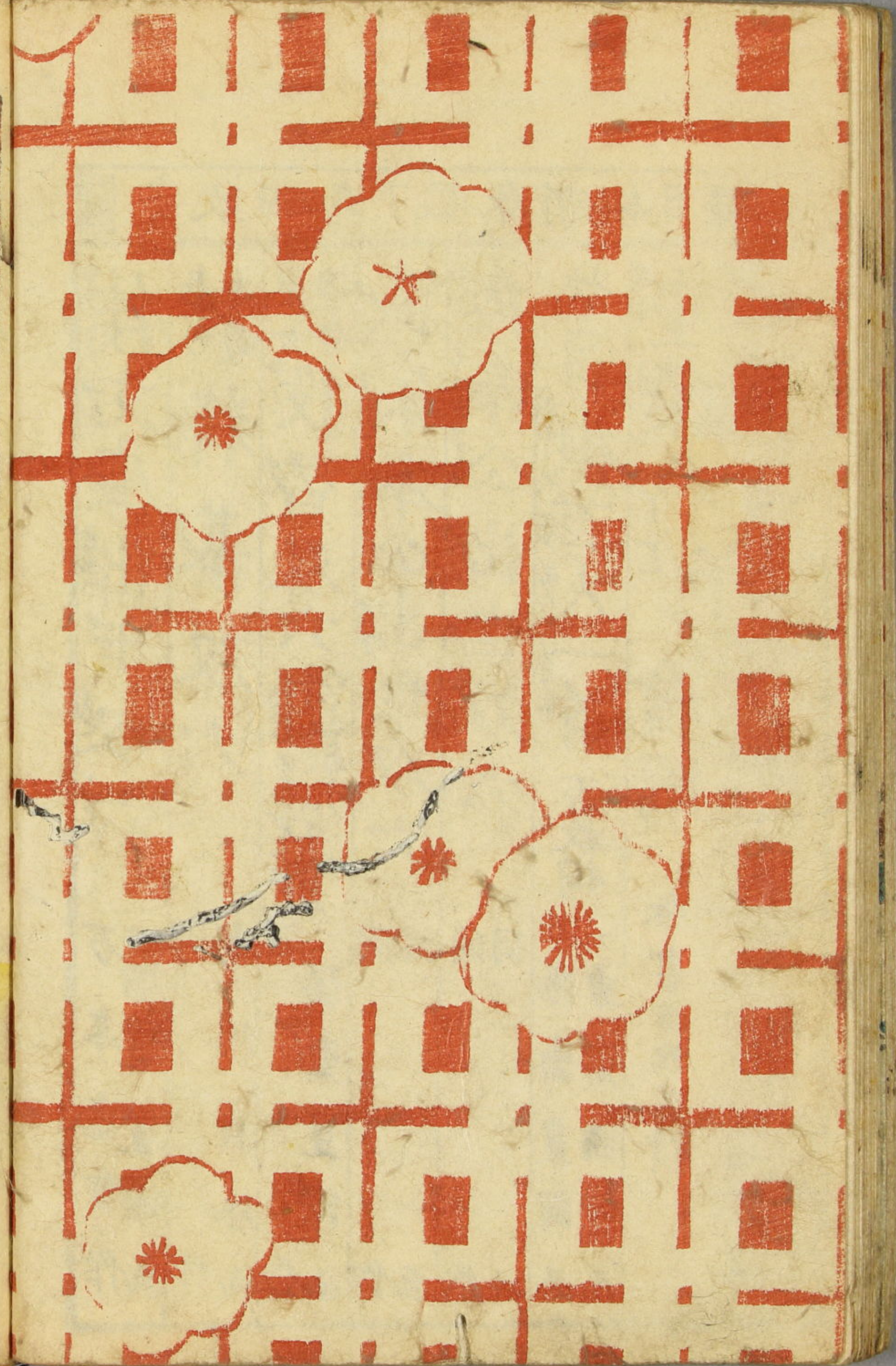


倭文庫二拾六編

万亭應賀作

升題曲豆團包

上



# 倭文庫二拾 六編上之卷

應賀作  
國貞画

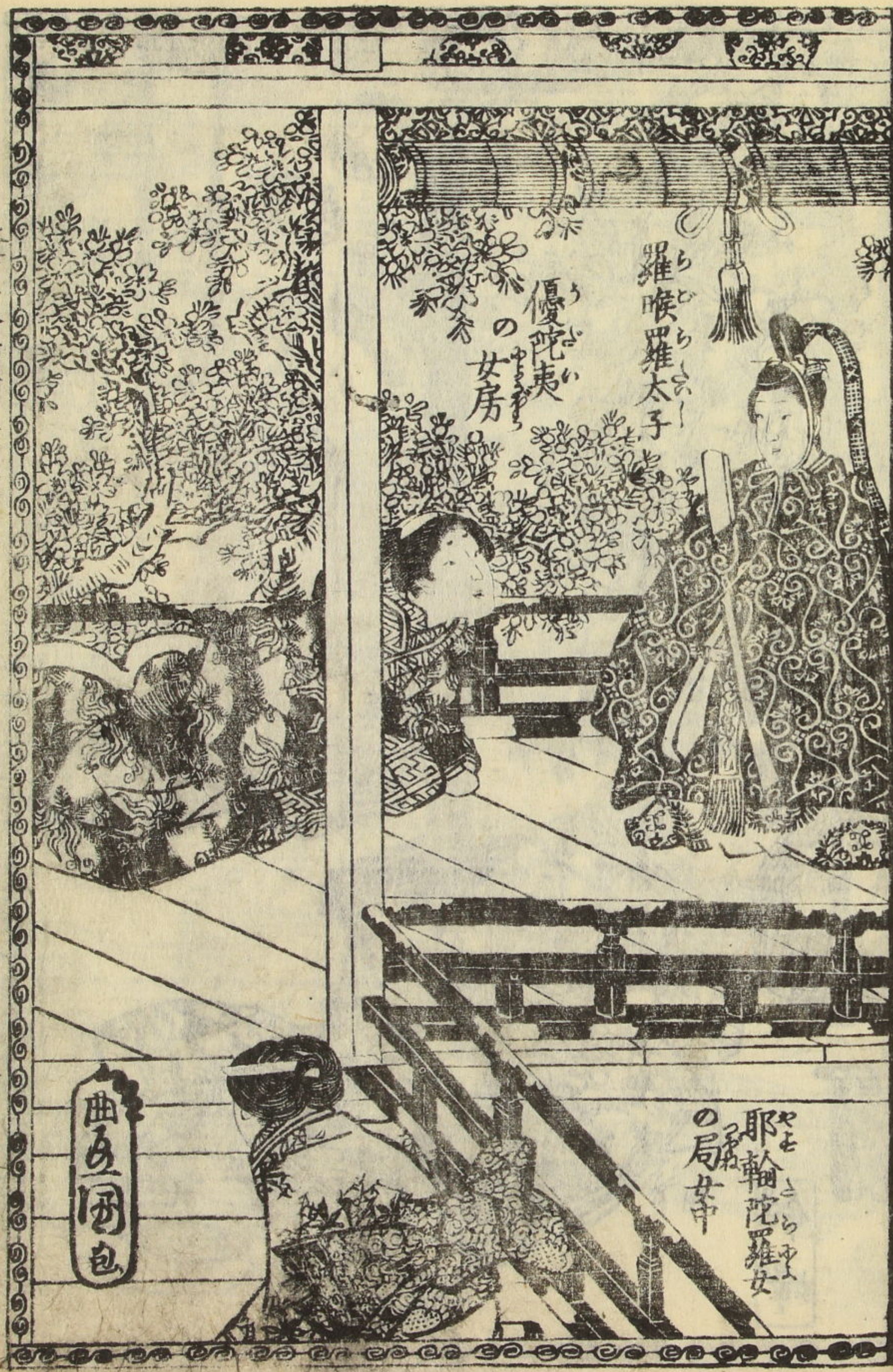
丑之春  
新梓行  
錦重堂版

## 釋迦八相倭文庫二拾六編序

或入予の問て曰く世も冊子の釈迦八相と題しん如來の傳記の大遠く又年月合は  
ころもあり又六編の序の始り却説とす如何なる預言の三事比皆理あり  
採て證とせし然れ教經の説を拾著して原より大人の園のなり仮名手小巻の遠く  
とを唯少男女の目覚め今抄の人情と司と俗語とありて其のなるる寸の太  
子の生ぬきありし其編に限るべからば年月合は正すとされ前後の書離て重蒙の  
く不悪しけれその場もよけれ先と操揚一編の中結とあり従令一編の草紙のうらた  
子と王宮の事あるとも年月合は及ぶ合はる場もありその編の遠くこれ  
准ん都て大手のありし或の太子の事ありて不續つけたるは亦一編の叙の却説  
由無粹に人多他人のありし野生るゝから拙さる本正はの序文もまた人居問  
るけれは傍客のの系随せ或の備書の筆勢は任事ともあれ其の念念の余は  
笑ふ人の笑ふまは子れ又その人を笑ふ此後ともこれとの改めたる筋力あると強情  
述て帰るは見る官方もその意して山後をきてとぞせられ

嘉永六癸丑年孟陬開市

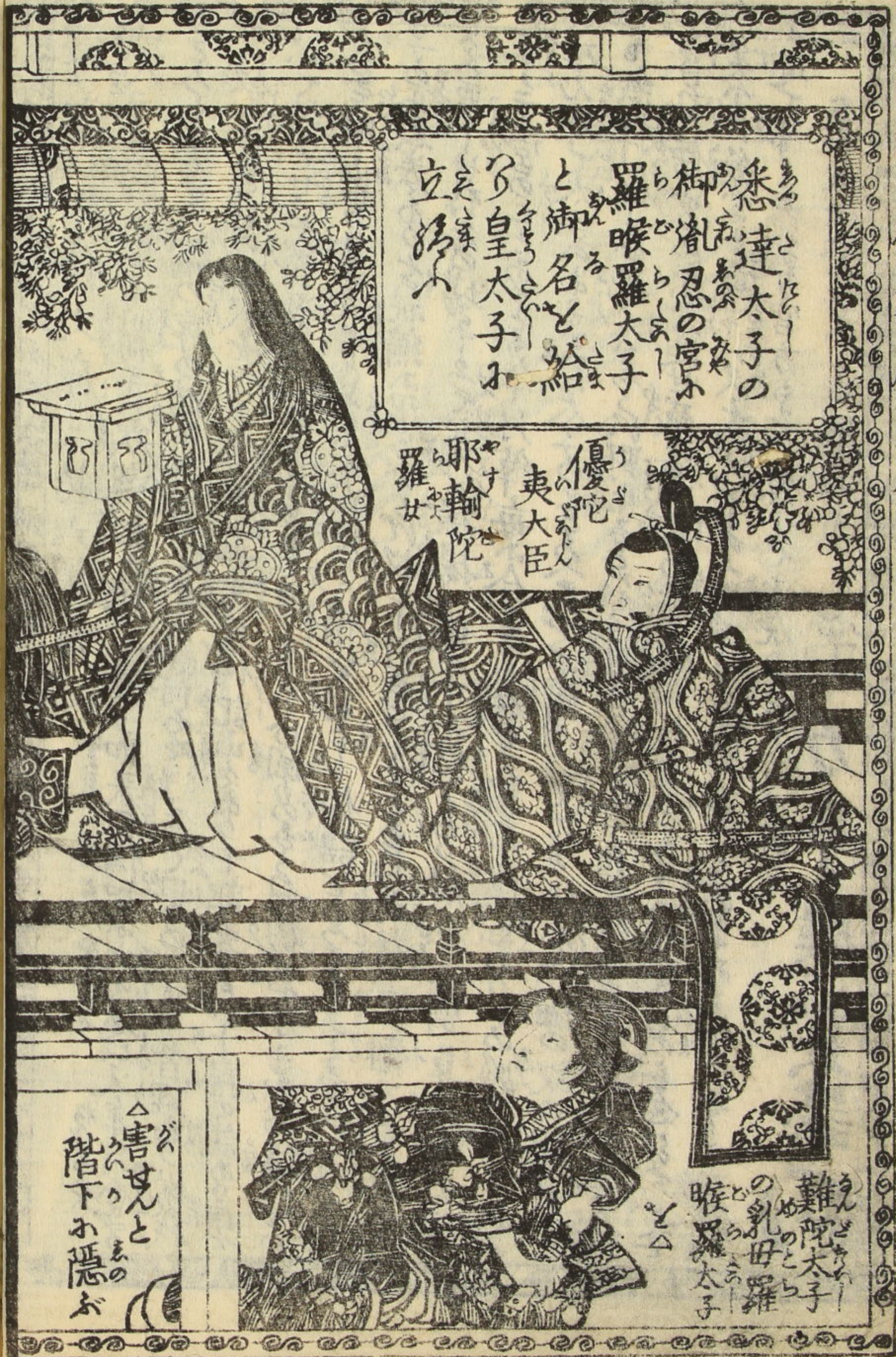
萬亭應加賀誌



羅喉羅太子  
優陀夷の女房

耶輪陀羅女  
の局

曲の團包



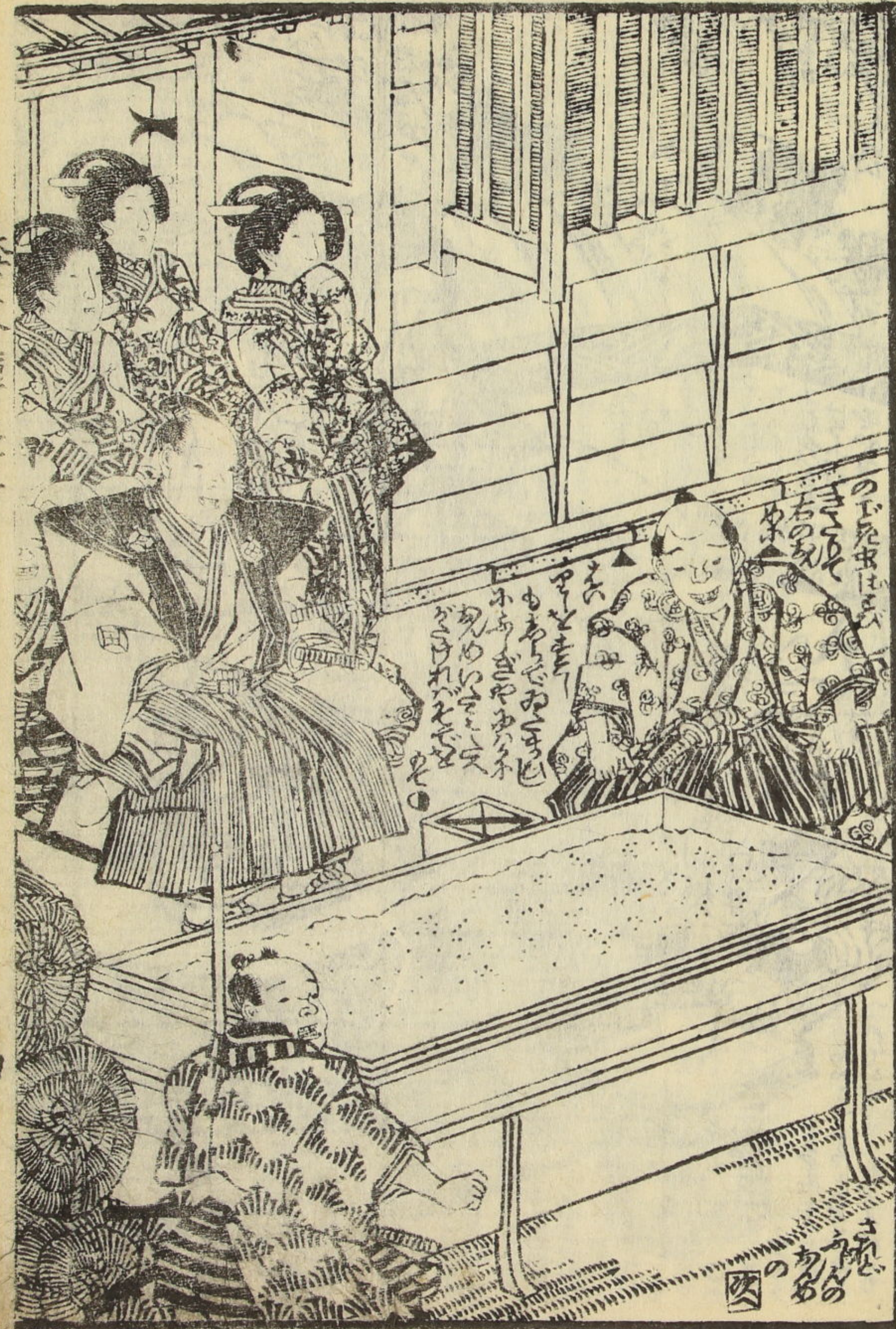
悉達太子の  
御流忍の宮  
羅喉羅太子  
と御名と給  
る皇太子  
立給ふ

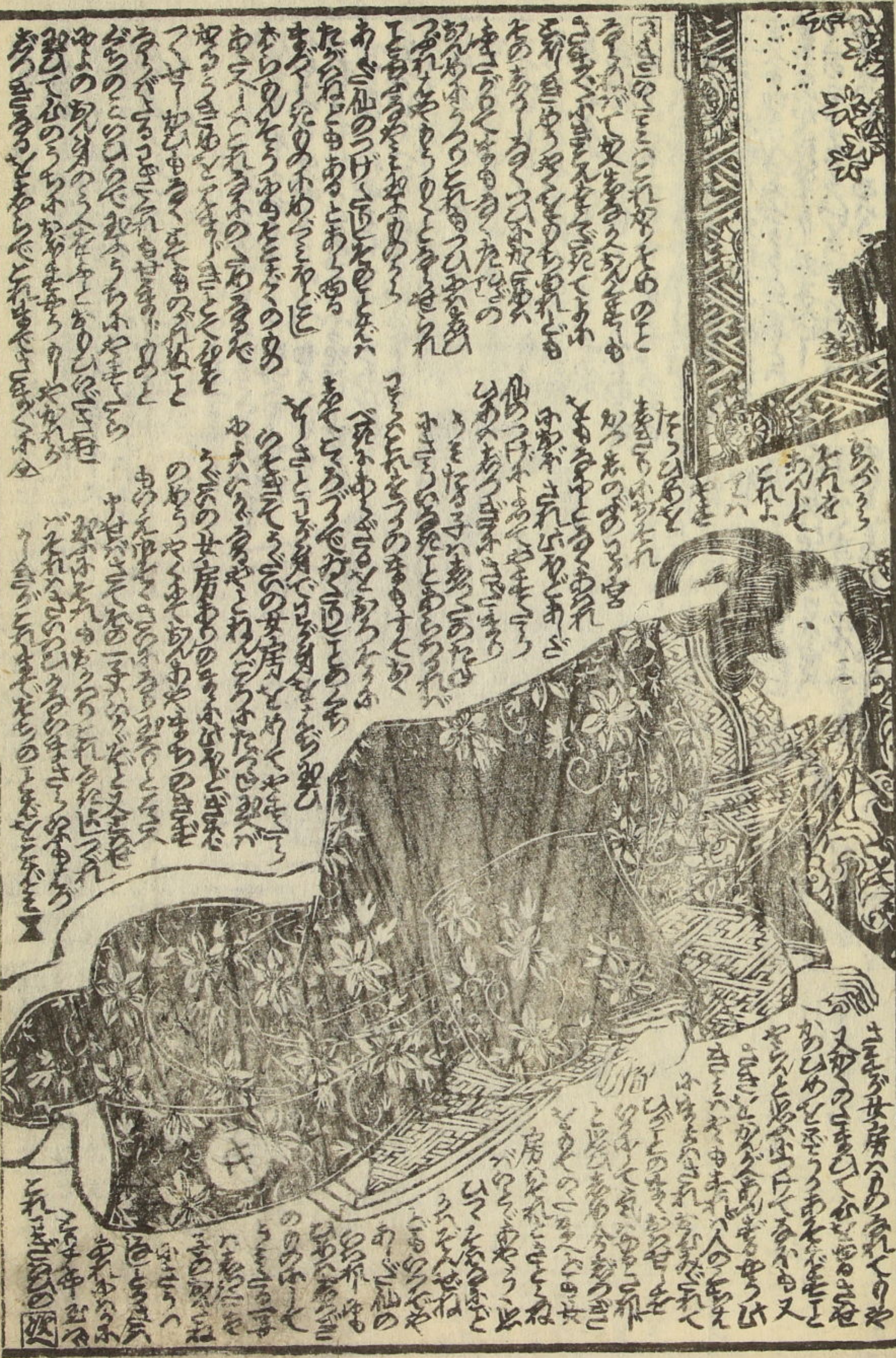
耶輪陀羅  
女  
優陀夷  
大臣

△害せんと  
階下小隠ふ

難陀太子  
の乳母  
羅喉羅太子







ことごとくこればかりのよめにて  
 る。これにて又もあんなにやうにも  
 いかんやうなことをしてやれ  
 ばと申す。さういふにやれぬも  
 ちもあつてはあつてはあつてはあつ  
 てはあつてはあつてはあつてはあつ  
 てはあつてはあつてはあつてはあつ

たいさつがなやうにあらうかと  
 申す。さういふにやれぬもちもあ  
 つてはあつてはあつてはあつてはあ  
 つてはあつてはあつてはあつてはあ  
 つてはあつてはあつてはあつてはあ

さいと女房のあつてはあつてはあ  
 つてはあつてはあつてはあつてはあ  
 つてはあつてはあつてはあつてはあ  
 つてはあつてはあつてはあつてはあ



このよめはあつてはあつてはあつ  
 てはあつてはあつてはあつてはあ  
 つてはあつてはあつてはあつてはあ

さういふにやれぬもちもあつては  
 あつてはあつてはあつてはあつては  
 あつてはあつてはあつてはあつては

さういふにやれぬもちもあつては  
 あつてはあつてはあつてはあつては  
 あつてはあつてはあつてはあつては







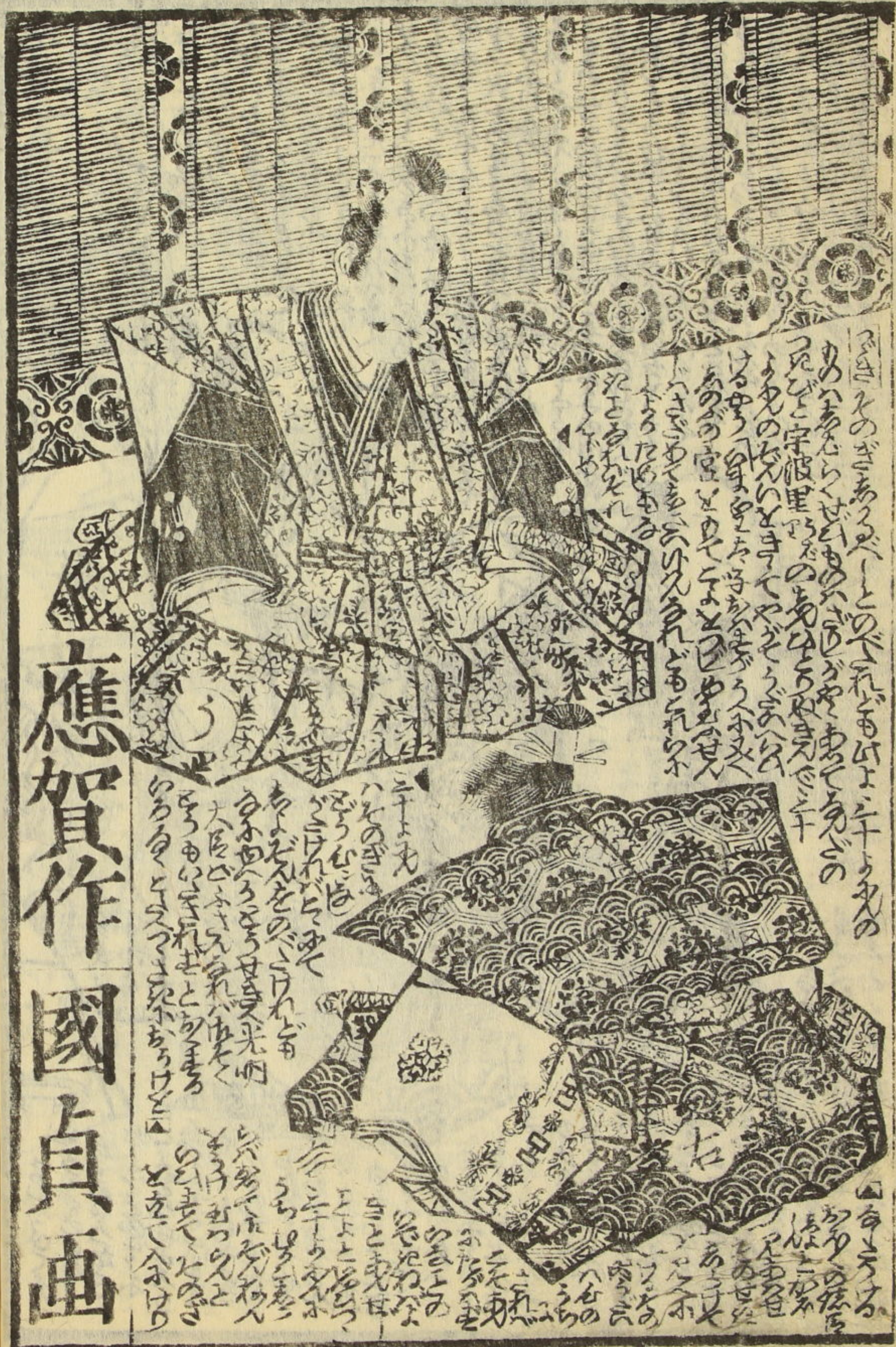






安政三年丙辰新春新板目錄

倭文庫	赤松譚	重井菱	譚柄瑠璃	茶番案文	神代毛月茶	金本類錦繪
三十四編 三十五編 三十六編 三十七編	九編 十編	六編 七編	四編 五編	全冊	三編 四編	人形
萬亭應賀作	如淵外史作	為永春水作	西澤一鳳作	萬亭應賀作	一勇齋國畫	上州屋重藏



應賀作國貞画

此の巻の...  
 万亭の...  
 一勇齋の...  
 上州屋の...

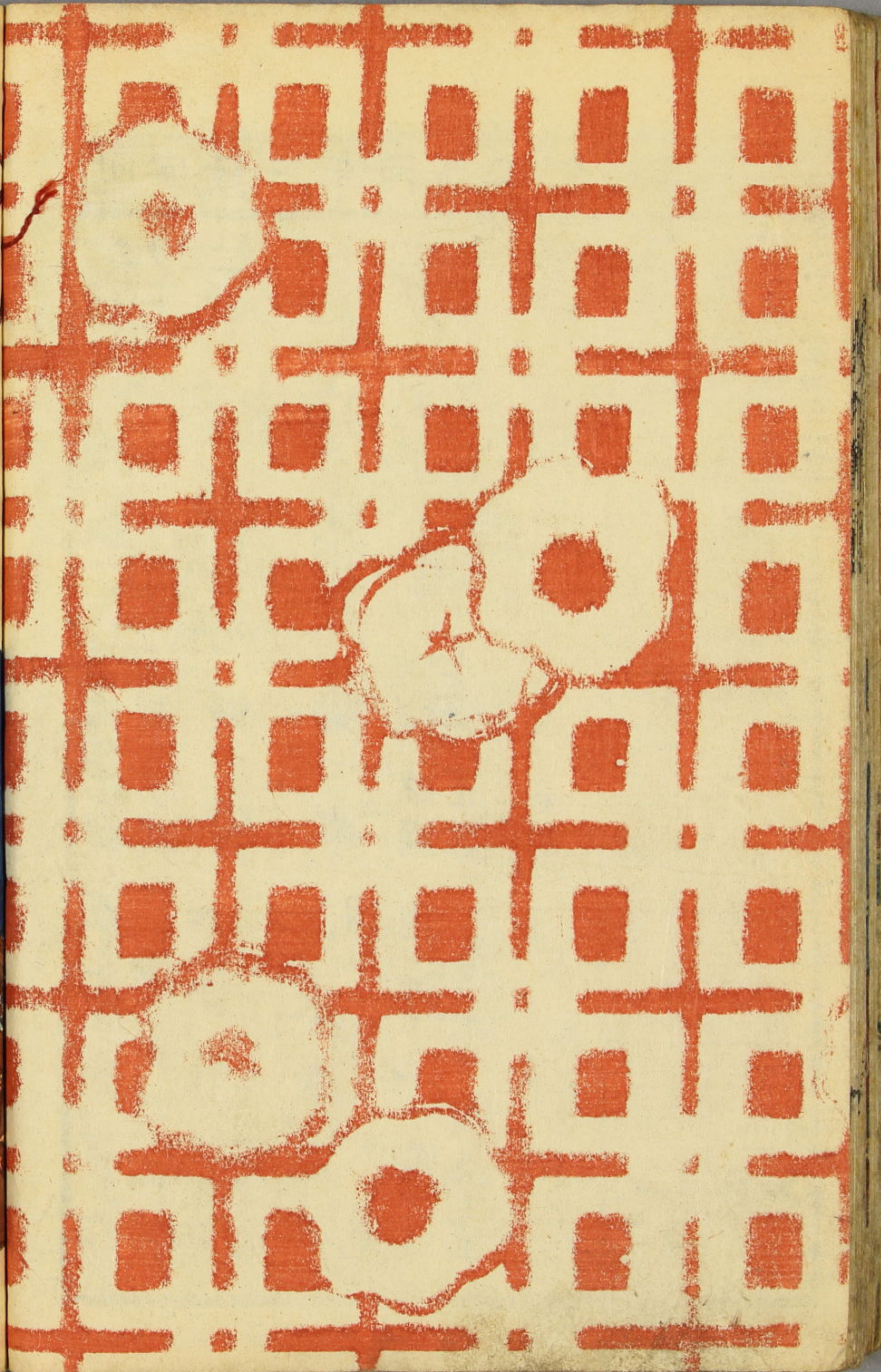
此の巻の...  
 万亭の...  
 一勇齋の...  
 上州屋の...  
 應賀作の...  
 國貞画の...

嘉永六年  
丑春新刊



歌川國貞画

下







木下大車 二二



作 三 月 二 二







委文庫 二六

十四



委文庫 二六







本舞文庫 二十

十七



本舞文庫 二十一



ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ

ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ

ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ

ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ

ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ



ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ

ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ

ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ  
ちんちんのあつ





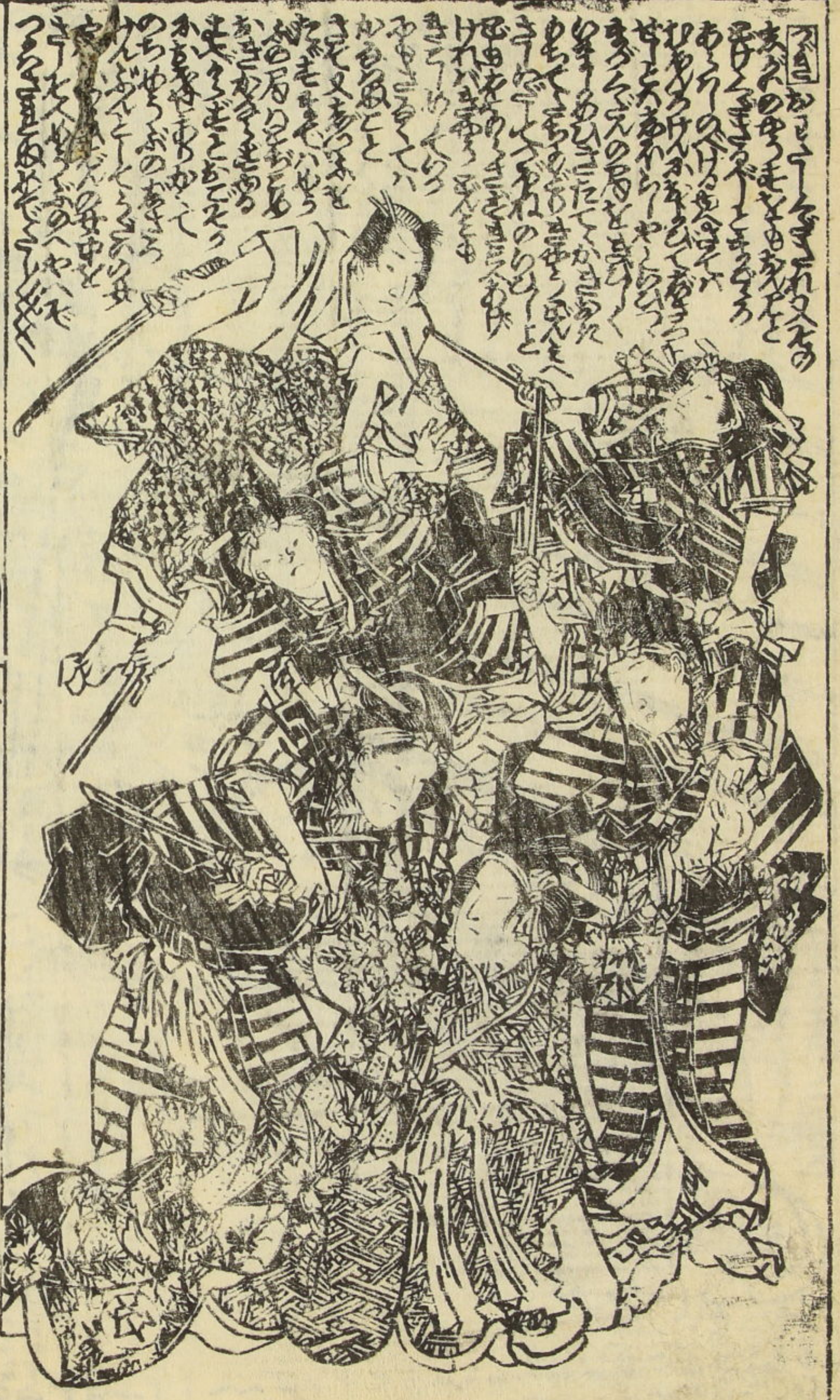
徳文庫二六の...  
おぼろしき...  
おぼろしき...  
おぼろしき...

おぼろしき...  
おぼろしき...  
おぼろしき...  
おぼろしき...



徳文庫二六の...  
おぼろしき...  
おぼろしき...  
おぼろしき...

おぼろしき...  
おぼろしき...  
おぼろしき...  
おぼろしき...



万亭應賀作 ㊦ 世歌川國貞画

政三年丙辰春新板目錄

倭文庫出世 双六 万亭應賀作  
一陽齋豐國画

春の将棋 双六 同 歌川貞房画

男女 役替 双六 同 一陽齋豐國画

大寶御江戸圖 極上摺 奉書六枚半續  
此書外のものと合して格子上で読むに注意  
むすはるものありては格子上で読むに注意

清元稽古本 初編 二編 出版  
是より形を懐中かむ二冊と白敷八重りある

常磐津懐中本 初編 二編 三編 四編 退く出版は

極上摺 擬百人一首 立勇齋廣實筆  
是の巻は百枚ありて  
仕立のよしありて  
色紙の極上品なり



蘇州府志